

2012年度

学校だより 第22号

2012(平成24年)年10月6日

ヒューストン日本語補習校

前期終業・後期始業式 9/29

～校長式辞～ (要旨) 秋を感じずようになった。

4月にたてた目標の進み具合はどうか。今日は年間42日授業の半分、前期終業と後期始業の式を行なっている。

現地校夏休みが終わりそれぞれ進級・進学をして新たな目標を持ったと思う。新しいことを始めるきっかけは学年や学期が変わるときに掴みやすい。

「よかったことは」「たりないことは」と前期を振り返り、後期の目標に向けて21日間をすごしてほしい。

後期に向けての抱負



幼星 まつもと かほ

私が幼稚園に入って楽しかったことは外遊びです。後期は運動会が楽しみです。これからもがんばります。

友達とデゴで遊ぶのが楽しいです。後期は赤組と白組で運動会をがんばりたいです。

幼宙 おか れんたろう



新しい

5 A 中村圭佑 前期に頑張ったことは、困った友達を助けることができたことで反省点は、分からないことをそのままほったらかしにしたことです。

後期は、責任感を持って行動し、自信を持っているんなことに取り組みたいと思います。



5 B 藤本 莉乃 5年生になって新聞作りや調べ

学習が大変になりました。でも、補習校に来るとたくさんの友達がいるのでいつもがんばろうと思います。現地校では最終学年になったので勉強も難しくなりました。後期の目標は計画的に宿題を進めることです。



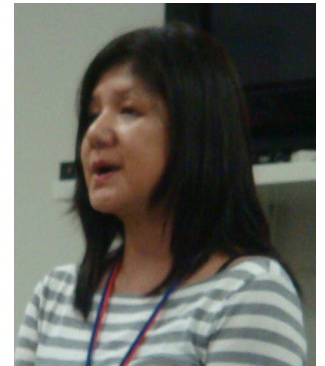
中2 出崎 日奈笑
前期は現地校も始まり、なかなか補習校の学習に時間を使うことができませんでした。ですから、後期では現地校を優先しつつも時間を有効に、計画的に使い、少しでも補習校の学習に時間を使いたいと思います。



8月着任の先生紹介



5 B 担任 小林浩子先生



6 A 担任 久次米康子先生

転入生	幼 星	サンパート 海くん
	幼 宙	佐藤 ジェイミーさん
	小1 B	加藤 聖陽くん
	小3 B	メイソン 善也くん

転出生	小1 B	水野 浩幸くん
	小2 B	岩森 光毅くん

お知らせ

本日借用校停電のため仮校舎での授業でした。そのためコピー機が使用できなかったため、「宿題」「学級便り」などをメール配信するクラスがありますのでご承知おきください。

お詫びと訂正

21号でお知らせした運動会ポスター入選者最優秀賞 5年 董 依琳さんの 董が薫となっていました。お詫びして訂正いたします。

学級紹介

No 5

高等部 1 年



女子の人数が少ないということもあり、皆が仲良く団結力が強いクラスです。中学部とは違い義務教育の学年ではないので、クラス全体に「学びたい」という意欲を感じます。真面目にやらなくてはいけないときには真剣に取り組んで、遊んで良いときには、活発に遊ぶきりかえが早く、順応性が高いので、とてもバランスの取れた、良いクラスです。欠点は・・・強いて言うなら、たまに冗談と悪ふざけが度をこしているという事です。担任の河島先生の年齢は不詳ですが、ノリや言動は先生というより生徒の一員のようなようです。

高校生になって、現地校とのバランスが厳しくなりましたが、皆で楽しく乗り越えられると思いました。

<学級紹介文作成 : リッテンマイヤー珠乃>

(写真撮影日に欠席だったリッテンマイヤーさんが作文してくれました)

◆パトロール当番予定表10月13日◆

これは 10・11 月当番一覧表に記載された予定です。

変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★ AM 1 リーダー	中 2	1 5	山田 若菜
		2	坂本 和真
		3	三浦 治樹
		4	丹波 美優
		5	ロバーツ ジェニファー
		6	副田 海斗
		7	出崎 日奈笑
★ PM 1 リーダー	中 2	2 3	大瀧 萌々花
		2 4	富岡 利彩
		3	木下 颯乃
		4	柿仲 雄大
	中 3	2	浮田 耀
		3	田井 瑞葉
		4	大熊 一誓

生徒作品 中1 「もし〇〇がなかったら」

〇〇がなかったら…

寺田凌大

もしも学校がなかったら、僕は毎日だらだらと無駄な一日を過ごしているであろう。

そして僕は、ものすごくバカになってしまうであろう。

僕は学校がないと将来生きていけないと思う。なぜなら脳はうまく働かず、言葉も話せなくなるだろうし、文字も書いたりできないであろう。そう考えると、戦の世に生まれた子供たちに同情したくなるであろう。ものを買う時でも、値段の計算などができなければ物を買うことだって難しくなるであろう。ましてやろくな人生を送ることすらできないであろう。

だから、僕は学校があって良かったと思う。

●「であろう」で統一された文末でリズムが生まれました。学校は、昔は特別な人が行く所、今は、日本では、みんなが行かなくてはいけない所。学校がなかったらいいのに、と思うこともありますが、本当になかったらどうなるだろう、と考えると、やっぱりあった方がよくて、行けることがどんなに幸運なことかに思い当たりますね。

もしも電気がなかったら

米林慧祐

もしも電気がなかったら、僕たちは一体どう過ごすことになるのだろうか。今、当たり前のように使っている便利な電化製品はみな使えなくなってしまう。食べ物との関係では、電気炊飯器、湯沸かし器、電子レンジ、冷蔵庫が使えない。調理やお湯は火を使えばいいが、冷やすのは難しい。冷蔵庫がなければ、食品の保管が問題だ。電気一つがいろいろな関係を崩していく。

電気がないだけで、身の危険も出てくる。とても暑い夏に冷房が、冬に暖房が使えないと、熱中症や凍死の危険が出てくる。

だから僕たちは、自由に電気を使えることをありがたいと思わなければならない。そしてこれからのエネルギーを真剣に考えなければと思う。

●時々停電になって、電気がない時間を過ごすことがあります。そんな時、電気がないと本当に何もできないなあ、と実感します。今の生活が、電気で動くものが中心になっているからだと思います。でも、電気がどうやって作られるのかを考えれば、エネルギーについて考えることは、ほんとうに必要なことだと思います。最後の段落が(電気がなくても)光っています。

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

H.P.に於て学校便りをカラーでご覧になれます。

(文責 : 校長 山岡 清孝)